

このような学校をめざし、

地域の教育力を生かし、広がりのある体験・学びができる一人一人が主役の

次のような子どもを育てます。

これからの社会の担い手として必要な学力や資質・能力をもち、
西山形地区に生まれ育ったことを「誇り」に感じている子ども

【社会の担い手として必要な学力や資質・能力とは】

「数値に見える学力」はもちろんのこと「課題解決能力」や「コミュニケーション能力」、「情報活用能力」など。加えて、「新しい生活様式」など、未知の事態に柔軟に対応する力

そのために、以下の基本方針で臨みます+ポストコロナの考え方

1 五感をはたらかせた体験・学びを充実させていきます。

(感性は、AI・ICT・バーチャル・グローバル化等、どんな時代が到来しても人として土台となる部分です。そこで、感性が豊かに育つように「五感をはたらかせた体験・学び」を充実させていきます。)


2 「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていきます。

(少人数であることで、じっくり課題を設定したり、たっぷり情報を収集したり表現活動をしたりすることが可能となり、人が学び、課題解決していく力の育成に結びつけていきます。)

※全校児童 58名 5.6年 複式学級

3 「西山形地区」の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を
最大限に生かしていきます。

(学習資源が豊富にある地区であることを生かし、魅力的で価値ある学習を実施していきます。)

4 隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、 それらにつながる学習を実施していきます。

(今後、コミュニティセンターや学童クラブ等とも隣接することを生かし、学校だけに閉じない広がりや深まりのある学習をしていきます。)

5 教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、
共通理解を図りながら組織および環境を整えていきます。

(育てたい資質・能力や実施方法の共通理解を図りながら、子どもたちに一層充実した学習を提供できるようにしていきます。)